

コロナ禍におけるモビリティ・マネジメント教育の実施状況

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 岡本英晃
株式会社社会システム株式会社 野田律子、益森芳成
株式会社アップス 山下良久

◎背景と目的

モビリティ・マネジメント教育(以下、「MM教育」という)は現在、数多くの地域で様々なプログラムが実施されている。エコモ財団では毎年、MM教育の実施状況等を把握するためアンケート調査を実施している。

学校現場でも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2020年2月28日には小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校において臨時一斉休業が要請されたり、修学旅行や遠足・校外学習の中止など、様々な対策がとられた。

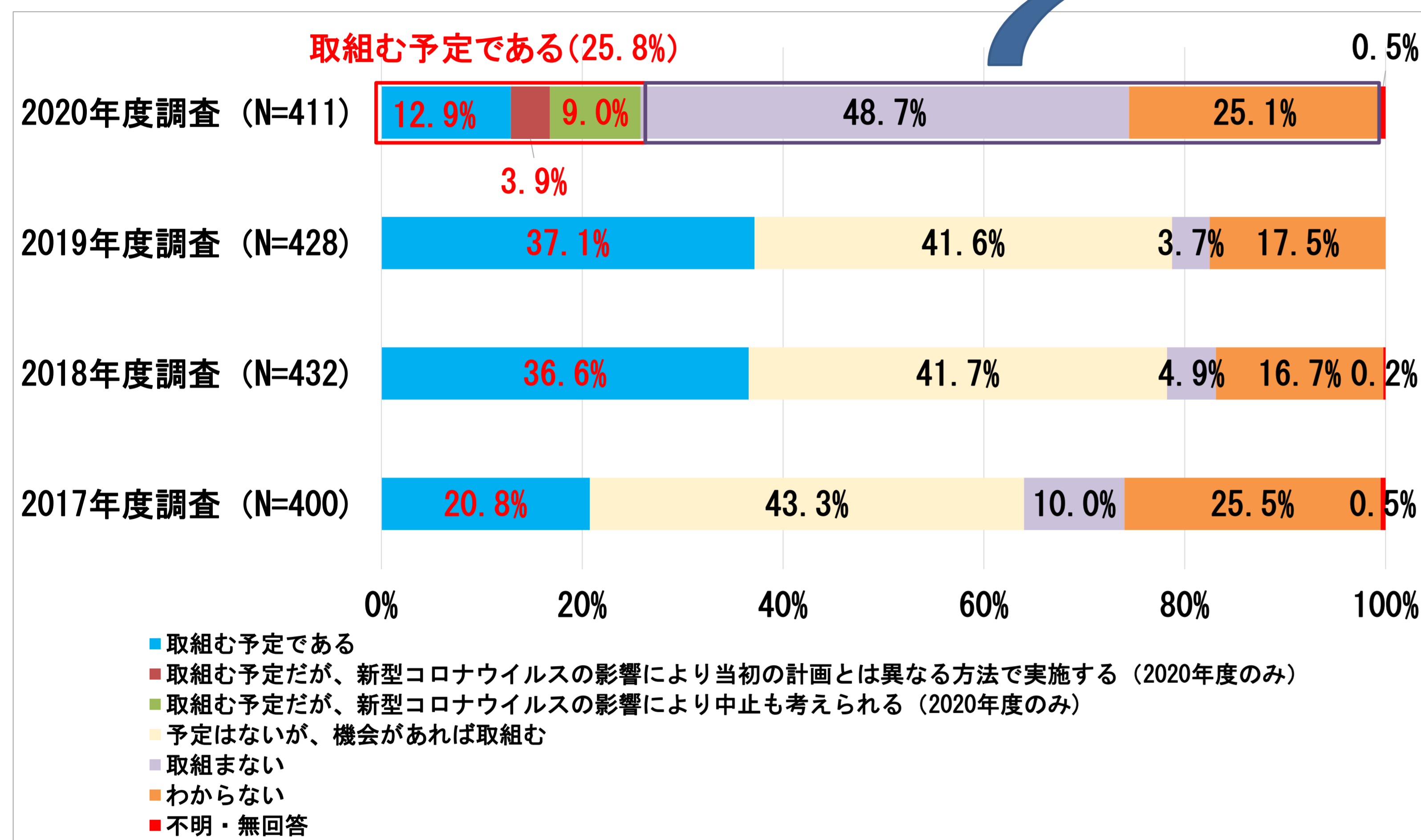
そこで、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策によって、学校でのMM教育実施に対してどのような影響があったのか、アンケート調査を行なった。

<アンケート調査概要>

調査対象	全国の都道府県と市、特別区の 862 自治体の交通政策担当部署
調査時期	2020年10月12日～2020年10月30日
配布回収方法	郵送配布、インターネット、郵送、FAXによる回収
有効回収数	411件(47.8%)

◎アンケート調査結果

2020年度の実施予定



<取組まない、わからないと回答した理由>

	回答数(件)	構成比(%)
これまで実施したことがない	193	63.7
例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した	55	18.2
例年は実施していたが、今年度は取組まない(新型コロナウイルスの影響以外)	7	2.3
その他	48	15.8
合計	303	100.0

<当初の予定とは異なる方法での実施例(自由記述)>

- バスマつりなどのイベントでの不特定多数への実施を止め、学校単位での乗り方教室の実施や、ホームページでの広報を行う
- グループになっての学習は止め、個別での学習とする

- 実施予定の自治体の割合は、2018年度調査では36.6%。2019年度では37.1%あったが、2020年度は25.8%と10ポイント以上の差があった
- 「取組まない」、「わからない」と回答した自治体のうち、18.2%の自治体において「新型コロナウイルスの影響で中止した」という回答があった

実施できなくなった理由

「例年は実施していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため中止した」理由としては、「3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため」と回答した自治体が41.8%あった

	回答数(件)	構成比(%)
3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため	23	41.8
全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため	17	30.9
接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため	10	18.2
交通事業者等の協力を得られなかったため	5	9.1
遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため	2	3.6
その他	23	41.8

実施する理由

MM教育を実施する理由としては、「自治体として公共交通の利用促進を図るため」が78.3%と最も多く、次いで「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」が50.9%となった。また、その他の内容としては、「学校からの要請があったため」と回答した自治体も9件(8.5%)あり、学校として重要な取組みとされていることもわかった。

	回答数(件)	構成比(%)
自治体として公共交通の利用促進を図るため	83	78.3
身のまわりの交通に関する知識を学習するため	54	50.9
人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため	20	18.9
他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指すため	11	10.4
市町村・交通事業者等からの要請があったため	8	7.5
その他	21	19.8

<まとめ>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての3密回避などの影響により、MM教育の実施を取りやめた自治体があったことが分かった
- 一方で、学校として重要な取組みだと認識されていて、要請にこたえる形で実施されているところもあることが分かった

これまでのアンケート結果や事例、参考となる教材等は、モビリティ・マネジメント教育ポータルサイトに掲載しています。
(<http://www.mm-education.jp/tebiki/index.html>)

